

以下の例を読んで、良いと思う点、直した方が良いと思う点を考えてみましょう。

◇ 学生時代に力を入れたこと

① 居酒屋のアルバイト

個人経営の居酒屋のアルバイトで、常連客を増やすことに

成功しました。

まず、その店は個人経営店ならではの「お客様と従業員の

コミュニケーションが少ない」という課題を見つけ、積極的にお客様に話しかけるようにしました。

しかし、常連客が増えることはなく、私が一方的に話しかけてもお客様の心をつかめないことに気が

きました。そこで、お客様の特徴や趣味などをノートに記録して、お客様に合わせたコミュニケーションを

心がけました。その結果、1年後には常連客を1.5倍に増やすことができました。

この経験を通じて、お客様のニーズを把握することの大切さを学べたと感じています。(314文字)

◆ 伝えやすい構成

✓ 結論

✓ 動機

✓ 具体的な内容

✓ どう活かしたいか

② 運動系の部活動

私は、陸上の5千メートルの大会で自己ベストを1分半縮めました。高校時代から陸上が好きで、

大学でも自分のベストを超えたいと考えて継続しました。この記録を出すために、とにかくハードワークを

心がけました。朝練習や自宅での筋トレなどとにかく4年間ハードワークをこなしました。その結果、

高校卒業時点では16分半程度だった5千メートルのタイムを、念願だった14分台まで縮めることができました。

この過程で学んだことは、努力は嘘をつかないということです。努力を積み重ねていけば必ず何らかの

成果を出せることをこの過程で学びました。社会人としても常に努力し、ハードワークをこなすこと、

これらを大切にしていきたいと思っています。(298文字)

③ サークル活動

私は約100名が所属する〇〇サークルの代表を務め、約8割が参加する夏合宿の運営をスムーズにおこなうことに力を入れて取り組みました。半年前の冬合宿では満足のいく運営ができなかったためです。

夏合宿の運営ではチームワークを大切にしたいと考えましたが、20名弱の幹部の意識の差をなくすることが大きな課題でした。そこで、合宿の準備期間がテスト期間と重なっていましたが、幹部全員に会議に参加してもらうため、全員のテストのスケジュールを把握して、会議の日時を調整しました。

また、事情があつて会議に参加できない幹部もいましたが、しおりなどの作成を任せるなど、役割を持ってもらいました。幹部全員で役割分担をすることで、「全員で成功させる」という考えを共有できたと思います。

協調性を大切にしながら組織の中心となって、目標に向かって努力した経験は、入社後も役立てられると考えています。(465文字)